

## 「氷感SO庫」と「SORAコン」

### JR貨物・南関東ロジがリノベーション

ジェイアール貨物・南関東ロジステイクスと日本事業者団体連合会は、鉄道貨物輸送用コンテナを活用した事業に関する業務提携契約を締結した。従来の鉄道コンテナの機能性や付加価値をより高めたりノベーションコンテナを開発・製作する。9月下旬に「氷感SO庫（ひょうかんそうこ）」と「SORAコン（そらこん）」2種類の試作品が完成予定。年度末からの量産化を目指す。

「氷感SO庫」は、汎用コンテナに温度保持機能と冷却システムを付加することで、食材などを凍らせることなく長期にわたって鮮度をキープする。これまでの保冷・冷凍・冷蔵コンテナとは異なり、食材などを変質させずに保管できるため、鉄道貨物では運ぶのが難しかった食材などの輸送も可能になる。また、保管時は外部電源で充電・可動し、輸送時は蓄電池で定温管理するため、ひとつのコンテナで保管と輸送の両方を実現する。

「SORAコン」は、特殊塗装を施した汎用コンテナに太陽光ソーラーパネルを設置し、コンテナ内のファンを作動させることで庫内を24時間換気。特殊遮熱塗料と換気扇でコンテナ内の空気を強制的に循環させるため、庫内の湿度・温度が安定し、輸送時も保管時も常温で積載物の品質を保つことが可能。